

べっかい 議会だより



62

看護のこころと技を受け継ぐ（新人ナースに入院患者の看護内容を説明する看護指導員）

特集

産業の発展と環境問題を問う ……………2
（スラリー流出問題から）

町政のここが聞きたい ……………7
一般質問（中村・木嶋・瀧川の3議員）

シリーズ 志を受け継ぐ 町立別海病院 看護部長 川瀬繁子さん…14



2012.8.1
北海道別海町議会

環境問題を問う

産業の発展を考えるうえで環境の問題は切り離せません。スラリー流出事故について、全員協議会(4/25)と産業建設常任委員会(4/12・4/24)での審議の内容を報告します。

今年三月床丹川で発生したスラリー流出事故は、大気・海・川・森は一つとのスローガンのもとに、河川環境の保全・再生に、漁業者・農業者・町民が町をあげて取り組んでいる中で発生であり、漁業者への信頼回復を含め、再発防止へ向け具体的な対策が求められます。第四回全員協議会ならびに産業建設常任委員会で審議された内容を報告します。

全員協議会での

経過報告・質疑

■山崎農政課長

三月三十一日午後二時、床丹ふ化場長が、飼育用水が褐色でふん尿の臭いがすることを確認しました。

床丹川周辺の農家からスラリーが溢れだし、床丹川へ流れ込んでる可能性がある旨報告を受けました。

町としては、野付漁協に対し、家畜排泄物等流出事故発生時対応マニュアルのつとり状況報告するとともに、職員は現地に向かい現状を調査しました。そ

の結果、原因となった農家は床丹ふ化場から上流二kmに位置する牧場であることが判明しました。

翌日当該牧場にて、牧場主、JA道東あさひ、町、野付漁協、管内増協(注)により現地の状況を確認しました。

堆積区域の掘削を行なうとともに雪とスラリーの混合物を搬出し、四月四日には、ほぼ現地における対応を終えました。四月十日に管内増協が現地確認をし、了承を得ました。

床丹ふ化場においては、一月末に約二百万尾以上の稚魚がへい死

した矢先に、今回の事故が発生してしまい、稚魚に対する影響が非常に懸念されたところですが、幸い昨日現在へい死したという状況はなく、安堵しています。が、帰帰する四年後の水揚げに対し、不安をぬぐい切れないところではあります。

■松原政勝議員

酪農家本人さらには農協、町側は、今回の事故をどのように受け止めていますか。

■有田産業振興部長

酪農家本人に何度かお会いしましたが、すごく反省しています。

JAについては、家畜排せつ物法が施行されて以後、毎年啓発のチラシを農協を通じて各農家に発送していました。施設の管理の部分では、気を新たに農協と具体的な施設管理の改善を相談してい

ます。

■松原政勝議員

海上での不法投棄は、すぐに処罰の対象となりますが、今回の事故について振興局はどのような対処したのですか。

■有田産業振興部長

家畜排せつ物法にのつとり、施設を改善するという指導を行っています。

■西原浩議員

調査では、スラリーストアの容量不足が全町的に二十六戸あります。

容量を確保するためどのような対策を考えていますか。

■有田産業振興部長

スラリーの容量について二百八十三戸を調査した結果、二十六戸が緊急措置を要し、そのうち十五戸については、国営かん排で行



家畜ふん尿の流入事故が起きた床丹川ふ化場

スラリー流出問題から 産業の発展と

たスラリーストアに移しました。あとの七戸については、シートラグーンで考えています。

■山崎農政課長

今回の事故を起こした牧場ですが、今後育成牛は持たずに、二千三百mの施設容量に見合う頭数で経営していきます。

産業建設常任委員会 所管事務調査報告

四月十二日に産業建設常任委員会を開催し、産業振興部から経過と今後の対策について説明を受けました。

それに対し、委員からは、町側からの説明が遅いことが指摘され、町の家畜ふん尿対策の根本の見直しを求める意見が出されました。また、河川環境調査の資料請求がされ、資料が提出されました。床丹川本流の菊野橋、

ふ化場、床丹橋など十四个所の水質検査結果です。

資料には、「硝酸態窒素は、全体的に高い値を示している。」などと記述されており、どの地点についても思わしい状況ではないことが明らかになりました。

対策として、四月二日以降に農業団体を通じてスラリー施設の再点検調査が実施され、その結果、二百八十三施設中二十六施設に早急な

対応が必要であること、また、スラリー施設利用農家における飼養頭数と、タンクの容量、土地面積について改めて立ち入り調査をしていることが報告されました。委員から「こ

れまでも啓発や指導をしてきたが、それが有効に機能していない。従来どおりのやり方では問題は解決しない。」

「河川環境調査の結果が活かされていない。」などの意見が出されました。

これに対し、産業振興部からは、「指導チームの要領の中で『指導を定期的に行う』とされているが、実施されてこなかった。今後は



流出の現場を視察する産業建設常任委員会

定期的に行うよう改めてい。」環境調査の結果が活かされるよう検討していきたい。」などの回答がありました。

現地視察の実施

四月二十四日には、流出現場の視察を含めた調査を行いました。

この委員会では、家畜ふん尿管理・利活用全般の問題にも立ち入り、とりわけ臭気対策をどうするかについて議論されました。

「公害問題として、法的な側面からも考える必要があるのではないか。」という意見が出され、また、「臭いがあるということとは十分腐熟していないということだから、それをまくのは畑や周辺環境に悪い。農家にとってもマイナスイだ。」などの指摘がありました。産業振興部からは、「環境と飼養頭数など

規模拡大のバランスを考えながら政策展開をしていきたい。」との答弁があり、委員から提案のあったスラリー散布のマップづくりについては、「土地情報、水質、畑の履歴などのデータを一本化することにより、改善策が見えてくると思う。」との前向きな回答もありました。

委員長がまとめとして「調査・論議してきたことが今後の良い方向につながるよう、委員会としても努力していきたい。」と述べ、当件におけるこの日の論議を終了しました。

(注)管内増協

（社）根室管内さけ・ます増殖事業協会の略。根室管内八漁協が出資する団体で、主にさけ・ますの増殖を目的として、各河川のふ化場を運営する

**6月
定例議会**
6月19日～22日開催

6月定例議会は、6月19日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

平成24年度 補正予算概要

補正額

予算総額

一般会計（1回目の補正）

3930万円 増

148億3430万円

国民健康保険特別会計（1回目の補正）

6420万円 増

24億1120万円

水道事業会計（1回目の補正）

〈収益的支出〉

23万円 減

5億 348万円

〈資本的支出〉

500万円 増

3億2779万円

■一般会計の主な補正（歳出）

- 地域集会施設改修事業（中西別福祉館旧施設解体・撤去等）
1,760万円増額
- 国民健康保険特別会計繰出金
634万円減額
- 新特別養護老人ホーム・デイサービスセンター整備事業（地耐力調査委託料）
513万円増額
- 根室農業事務所転貸経費
315万円増額
- 産地水産業強化支援事業（当幌川ふ化場さけます増殖施設整備事業）
3,900万円増額
- 水産物流通等基盤強化対策事業（別海漁協・付加価値対策事業）
570万円増額
- 町道維持補修事業
800万円増額
- 臨時町道整備事業
600万円増額
- 社会資本整備道路交付金事業（事業確定による減額）
6,200万円減額
- 教育活動経費（武道必修に伴う教材等購入費）
211万円増額
- 中央公民館整備事業（暖房機器整備）
143万円増額

■国民健康保険特別会計の主な補正（歳出）

- 共同事業拠出金
5,552万円増額

■水道事業会計の主な補正（収益的支出）

- 受託工事費（配水管新設工事）
500万円増額

条例を一部
改めました

◆別海町地域振興住宅
条例の一部を改正す
る条例

中西別地域振興住宅五棟九戸に合併浄化槽を整備することに伴い、使用開始後に受益者から使用料を徴収するために条例の改正が必要となり改めました。



合併浄化槽が設置される中西別地域振興住宅

町道の路線認定
および廃止をしました

一路線（七九・四二m）を認定し、一路線（一七五・八七m）を廃止しました。これで、町道の総延長は、六六九路線で一、一九八・四三一kmとなりました。

町長の専決事項を
追加指定しました

軽易な事項で、議会の議決により特に指定したものは、町長が専決処分（注）できるとされ、当町では工事等の請負契約に係る軽微な変更契約のみ指定事項としていました。この度、町の義務に属する損害賠償について

て一件につき百万円以下の損害賠償の額を定めること、これに係る和解・調停に関する事項を新たに追加指定しました。

（注）専決処分

議会が議決または決定すべき事からについて、法に該当する場合および議会の議決により委任された場合に、長が議会に代わってこれを処分すること



指定管理者が決まった別海町資源循環センター（中西別バイオガス施設）

**指定管理者の指定
を承認しました**

◆別海町資源循環センター

平成二十四年七月一日から新たに指定管理者を指定することを承認しました。

指定管理者は別海パ
イオ株式会社、指定管
理期間は、平成二十七

**工事請負契約の
締結を承認しました**

**◆富岡西地区農道三代
橋架換工事**

簡易公募型指名競争
入札により、高玉・別
海経常建設共同企業体
が落札しました。

年三月三十一日までの
二年九ヶ月間です。

**辺地の総合整備計画
の策定について**

契約金額は一億千四
十六万円で、工期は平
成二十五年二月二十八
日までです。

辺地に係る公共的施
設の総合整備計画を新
たに策定しました。内
容は次のとおりです。

- ①尾岱沼辺地く老朽
化した尾岱沼分遣所等
の消防施設の整備など
を行う。（事業費四億七
千四百七十三万円）
- ②美原辺地く農作業
機械の大型化に伴う産
業農林道の整備を行う。
（事業費一億七千四百
十万円）
- ③西春別辺地く農作
業機械の大型化に伴う
産業農林道の整備およ
び施設の老朽化に伴う
下水道施設の整備など
を行う。（事業費六億五
千八百二十九万円）

**辺地の総合整備計画
の変更について**

本計画の公共的施設
の整備計画の変更に伴
い、中西別辺地、泉川
辺地および中春別辺地
の総合計画が、それぞ
れ次のとおり変更され
ました。

- ①中西別辺地く矢日
別第二地区および別海
南部地区農道整備事業
の事業費を増額する。

- （事業費二億千九百五
十三万円追加）
- ②泉川辺地く泉川北
4線道路整備事業の事
業費を増額する。（事
業費二億三百十五万円
追加）
- ③中春別辺地く富岡
南地区基盤整備事業の
追加および富岡西地区
農道整備事業の事業費
の増額をする。（事業費
一億九百六十五万円追
加）



架けかえ工事が決まった富岡西地区農道三代橋

国・道に意見書を提出しました

◆森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

提出者 安田 輝男 議員
他四人

国土の保全・水源の
かん養に加え、地球温
暖化の防止策として、
森林に対する期待が増



森林を守り育てるには人の手による管理が欠かせません

す中、林業・木材産業は材価が低迷し、危機に立っています。

このことから、森林整備を着実に進め、森林資源の循環利用を推進し、林業の安定的発展と山村の活性化を図り、森林・林業の再生に向けた取り組みを推進することなどを求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆地域の実態に応じた高校づくりを求める意見書

提出者 木嶋 悦寛 議員
他四人

少子化の影響から中学卒業者が減少する中、道教委は、法的な根拠を越えて一学年三学級以下の小規模校を再編・統合の対象校に設定しており、根室管内の高校も例外ではなく見直し等の対象となっております。

地域の産業・文化・経済の担い手を育成し、教育の機会均等を保障するため、地元高等学校の存在の意義、子ども達に学びの場を提供する小規模校の果たす役割を考えれば、財政難や指針による数字だけで割り切れるものではないことから、北海道の持つ地域性を十分に考慮の上、その指針を見直すことなどを求める意見書が提出され、反対・賛成討論があり、採

決の結果、賛成者多数で可決されました。

反対意見

(今西和雄議員)

意見書の内容について反対するものではありませんし、地元の高校を愛する気持ちは同じです。

だからこそ、町はもちろん、議会、PTA、同窓会などと、あるべき姿や思いなど多くの議論を重ね、わが町の指針を盛り込んで伝えるべきです。

それゆえに今回の意見書提出は、時期尚早と考えます。

賛成意見

(安部政博議員)

別海高校の本年度入学生は、普通科は九十三人(定員百二十人)、酪農経営科は十四人(同四十人)です。道は募集人数から五十人減とする場合、一学級減とする考えで、別海高校は酪農経

営科が対象となります。帯広の農業高校定時制は生徒数が減少し募集停止となりました。東藻琴高校は定員の六十%くらいですが、両校とも後継者育成に重要な高校で、別海高校も同様です。

このことから意見書に賛同します。

◆基地対策関係予算の増額を求める意見書

提出者 総務文教常任委員会
委員長 佐藤 初雄

基地や関連施設等が所在する市町村では、それらに起因する諸問題などの発生もあり、地域振興に少なからず影響を及ぼしています。

こうした実情を踏まえ、各種障害などの問題・課題を軽減し、町民生活の安定と秩序維持のため必要な基地交付金の増額等を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

町政の ここが聞きたい

6月定例議会では2日目(6月20日)に3議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。詳しい議事録はホームページに掲載します。



りゅう弾砲に火薬を装てんする海兵隊員

■中村忠士 議員……………8

- 1 海兵隊訓練、当初の約束が守られていません
- 2 津波教育・避難訓練はどうなっていますか
- 3 民間業者が震災がれきを受け入れることはありませんか

■木嶋悦寛 議員……………9

- 1 技能士資格取得の啓発を
- 2 地域の実情に即した新たな避難計画の策定を



技能尊重運動の象徴である技能士会広告塔（憩の森公園内）



どの子にも行き届いた教育をとがんばる学校現場

■瀧川榮子 議員……………10

- 1 公民館の使用許可をしなかったのは間違いでは
- 2 就学援助事業の準要保護世帯(注)への適用拡大を

(注)準要保護世帯……別海町就学援助規則で定められている生活保護以外の低所得者、または病気や事故などで生活が困窮している世帯

詳しくはホームページをご覧ください

別海町議会

検索

中村忠士議員



議員 中村
**海兵隊訓練、当初の
約束が守られていません**

町長 許容の範囲と考えています

加する兵員数は最大で三百七十から三百八十人、車両六十台程度と

いうことです。しかし、前回の訓練日数は二十八日、今回はそれ以上です。兵員・車両は前回も今回も四百三十人と百台。明らかに拡大の方向です。最低でも防衛施設局長と確認した内容を守るべきです。

質問 前回は野火が頻発し、今回も野火が発生しました。原因究明・再発防止策が明確にとられるまで訓練再開をさせないよう求めるべきだと思いますが。

水沼町長

隊員の火の不始末とされています。誠に遺憾であり、原因究明と再発防止の徹底を図るよう、発生当日、道防衛局に要請しました。

質問

海兵隊移転訓練を容認した当時の議会で、防衛施設局長と確認した内容として報告されているのは、訓練日数は多くても十八日、参

も言えません。防衛施設局長に確認した内容には、米軍の外出時には施設局職員が同行するというものもあり、当時の町長が「一人二人の自由行動は絶対させない」と言明しています。その点は守られますか。

許容する範囲なのかどうか、考えのの違いです。私は許容の範囲であると考えています。

水沼町長

許容する範囲なのかどうか、考えのの違いです。私は許容の範囲であると考えています。

質問

一般常識では許容の範囲とはとて



りゅう弾砲の砲弾を運ぶ海兵隊員

水沼町長

規律の維持を含めて適正な行動がとられるよう要請しています。防衛局もそれに基づいて体制を整え、活動するものと理解しています。

防衛施設局長に確認した内容には、米軍の外出時には施設局職員が同行するというものもあり、当時の町長が「一人二人の自由行動は絶対させない」と言明しています。その点は守られますか。

津波教育・避難訓練はどうなっていますか

中村議員

教育部長 小中合同訓練など地域の实情に合わせた避難訓練を実施しています

質問

海岸地帯の幼・保・小・中学校での津波教育、避難訓練はどのようになっていますか。

大島教育部長

各学校では学校安全計画を策定し、防災教育の計画的な取り組みを行っています。

海岸地帯の学校では、小中学校合同訓練の実施など地域の实情に合わせた避難訓練を行っています。

課題としては、保護者への児童生徒等の引き渡しのルール確立、地域や関係団体との合同避難訓練、児童生徒

議員 中村
**民間業者が震災がれきを
受け入れることはありませんか**

福祉部長

町・町内会・農・漁業団体の協議が必要です

質問

町内の民間廃棄物処理場が震災がれきを受け入れることはありませんか。

佐藤福祉部長 監視委員会を構成す

の主体的判断による生き抜くための防災教育などがあります。

質問

自主防災組織の状況については。

竹中総務部長

百五町内会中六十七町内会、六三%が防災組織を結成しています。全道は四八・八%、全国は七三・五%となっています。

る町・隣接町内会・農・漁業団体の代表者による協議が必要です。

事業者の判断だけで受け入れが決まるものではありません。

木嶋議員

技能士資格取得の啓発を

産業振興部長

中小企業振興策の 指針に盛り込んでいきます

質問

中小企業振興基本条例には、中小企業者などに必要な人材の確保および育成を図ることとあります。

町発注工事の必要な部分で技能士重用の義務化を進め、未受験の若い労働者に技能士取得の重要性を認識させることは行政の役割であると考えますが、見解は。

有田産業振興部長

技能士資格を有する人材は町にとって大切な宝です。

今後は、技能取得の重要性および資格取得拡大に向け、現在作成を進めている中小企業振興策の指針に盛り込んでいくことも考えます。

質問

工事の様書に記載されている内容の徹底と、資格証明書、技能検定合格証書、あるいは技能士手帳の写しなどの提出を検討されてきましたか。

天田建設水道部長

技能士適用報告書の

提出を求めるほかに、土木工事では施工成績評定に加えています。昨年度の主な完了工事の報告では、建築発注の新築工事六件で九十八人、土木発注工事三十五件で二十五人となっています。

地域の実情に即した 新たな避難計画の策定を

総務部長 防災計画は地域住民の方々と 協議の上、策定していきます

質問

災害はいつ襲ってくるかわかりません。特

に海岸地域は平たんで津波被害を受けやすい現況から、地域の実情に即した新たな避難計画を今すぐにも立案する必要があります。避難経路、避難方法等の基本的な考え方は。

竹中総務部長

尾岱沼地区は、市街地を南北に急傾斜地が分断して、海岸側に居住する住民の迅速な避難が重要な課題です。

この急傾斜地には、避難階段等が合わせて十九か所あります。防災計画の見直しとあわせた津波避難計画を策定する際に、これらを活用した避難経路図の作成をします。

質問

障がい者や高齢者など自力での移動困難者に対する避難支援の基本的な考え方は。

佐藤福祉部長

平成二十二年七月に別海町災害時要援護者支援実施要綱を制定し、町内会や児童民生委員などの協力を得ながら、高齢者や障がい者が災害時に支援を受けることができる体制を整備しています。

質問

移動困難者への対策として津波シェルターの導入など実効性のある対策を考えていく必要があるのでは。

水沼町長

個人的に備えることはいいですが、公的には経費の問題など考えると難しいと思います。

質問

被災状況などの迅速な情報収集手段は。

竹中総務部長

尾岱沼・別海漁港に防災用監視カメラを設置。その他ウエブカメラや漁場監視カメラ、その他国道にある開発局のシステムなど利用可能で、三か所の防災センターに消防無線、尾岱沼支所には防災無線を設置しており、各地域の自主防災組織や消防団と連携した状況確認が可能です。



尾岱沼地区急傾斜地に設置された避難階段

木嶋悦寛議員



瀧川榮子議員



議員 瀧川
公民館の使用許可をしなかったのは間違いでは

教育部長 法の解釈に間違いがあり、法に抵触すると判断した公民館の誤りでした

質問 当町では公民館使用条例を定め、多くの住民が参加していますが、使用許可しないと返答された団体が最近まであったと聞きます。その事実がありましたか。

大島教育部長 昨年十月、許可しなかった事実があります。また過去において、許可されなかった事実があったと聞いています。

質問 許可しなかった理由は。 **大島教育部長** 社会教育法第二十三条に、公民館が行って

はならない禁止事項が示され「特定の政党の利害に関する事業を行い公私の選挙に関し特定の候補者を支持すること」と規定しています。

質問 これは、利用する側に対する制限であると考え、利用目的が特定の政党の利害に関することと判断して、利用許可しなかったということですか。

質問 利用する団体に対し公民館として制限ができるという認識ですが、公民館は非営利性、政治的中立性、宗教的中立性が求められています。

中立の立場で公民館を開放していくことが必要と考えます。

山口教育長 公民館側が政党などの講演会を開いたりはできませんが、公民館を利用する一般市民はできるということです。

質問 公民館がこれまで判断を取り違えていたのではありませんか。

大島教育部長 法の解釈に間違いがあり、法に抵触すると判断した公民館の誤りであつ

たと考えており、深くお詫びします。

質問 使用制限を定めた公民館使用条例の三条二項は削除する必要があるのでは。

大島教育部長 誤解を招かないよう整理する必要もあるかと考えています。

質問 自治体の長としての考えは。



多くの町民が利用している公民館

水沼町長

利用許可されなかったことについては、法の解釈や過去の通達、また凡例などを十分に承知していなかったこ

とにすべての原因があるものと考えています。関係法律の学習を促し、指導の徹底を図っていきます。

与えなければならぬと規定しています。

平成二十二年度から補助対象にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が追加されました。準要保護世帯を含め、当町の状況をお知らせください。

議員 瀧川
就学援助事業の準要保護世帯への適用拡大を

教育長 今後適用拡大に向けて検討していきます

質問 就学援助制度は、経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、市町村は必要な援助を

山口教育長 経済的理由によって就学が困難と認められる児童および生徒の保護者に、別海町就学援助規則に基づき、学用品、通学用品費、新入学生用品費、スケート用具、修学旅行費、学校給食費、医療費について就学援助を行っています。今後、準要保護世帯への適用拡大に向け検討していきます。

議会のうごき



フロアに降り熱弁をふるう手嶋龍一さん

議会改革の展望と課題 議長会主催全道町村議員研修会

(7月3日 札幌市)

小雨のばらつく別海を出発し、十勝地方に入り、こんなに気温が違いかと実感しながら札幌へ向かいました。

研修会場となったコンベンションホールの

駐車場には、全道からの町村名を記したバスで満車状態。研修に対する関心の高さや重要

性を感じました。

参加者は昨年同様千人以上でした。当議会からは十七名が参加し、貴重な講演を拝聴しました。

萬和男会長から、今の政治や地域が抱える問題について挨拶があり、その後、明治大学教授・牛山久仁彦氏

より「議会改革の展望と課題」と題して講演をいただきました。

基礎自治体をしつかりすることで地方分権を確立し、行政と議会の役割を果たすこと、住民本位の行政とはどういうものかなど、一時間半に及ぶ熱演でした。

また、第二部では、テレビでおなじみの北海道出身で元NHKワシントン支局特派員、慶応義塾大学教授の手嶋龍一氏より「世界の日本の日本く日本の外交戦略を探る」と題した講演をいただきました。

野田内閣が政治生命をかけて法案成立を目指すしている消費税増税法案、TPP交渉の現状、尖閣諸島問題、沖縄米軍基地問題などに

ついて、ジョークを交えながらお話ししてくださいました。私たちにも分かりやすい話で、会場全体が真剣に耳を傾けていました。

両氏の講演で、行政

と議会が地域の生活をしっかりと守り、より発展させるためにはどのように取り組むべきかを学ぶことができました。(森本議員)

根室北部消防事務組合議会 臨時議会 報告

6月25日、中標津町議会議場で根室北部消防事務組合の臨時議会が開催されました。

今回は、平成24年度一般会計補正予算、消防救急デジタル無線の工事請負契約が審議され、平成23年度繰越明許費が報告されました。議案については全会一致で可決されました。

消防救急デジタル無線整備事業（共通波）

中標津・標津・別海・羅臼	9億4756万円
中標津消防署消防救急デジタル無線整備事業（活動波）	1億2373万円
標津消防署消防救急デジタル無線整備事業（活動波）	7807万円
別海消防署消防救急デジタル無線整備事業（活動波）	2億3101万円
合計	13億8040万円

昨年11月に開催した「議会報告会」にはたくさんのご意見やご提案が寄せられました。その場でお答えしたものもありますが、持ち帰って調査したり、審議した事項もあります。各常任委員会ごとの取り組みのようすをお知らせします。



スクールバス待合所を視察する総務文教常任委員会

総務文教 常任委員会

委員長 佐藤初雄
副委員長 丹羽勝夫
委員 安田輝男
委員 戸田憲悦
委員 今西和雄
委員 森本一夫

学校の避難所としての整備体制について

町の第六次計画の中で、平成三十年度までに、小中学校の耐震化百パーセント達成を目標

指しています。小中学校は、地域の避難所として果たす役割も大きく、更なる整備の充実（食料・飲料水の備蓄など）に向け、要望していきます。

過去の大地震・断層・津波などのデータについて

具体的な調査は行っていませんが、今後、開発局、道とも協議し、検討していくとのこと

です。過去の状況をしっかりと把握することも、防災対応の一つとして必要なことですので、調査の実施を今後とも要

望していきます。

福祉医療 常任委員会

委員長 松原政勝
副委員長 西原浩吉
委員 渡邊政信
委員 山田信子
委員 瀧川榮子
委員 木嶋悦寛

保育園の時間外保育について

認可保育園は、午前と午後あわせて二時間の延長保育を行っています。また四か所のへき地保育園では、実情に応じ十五分から四十分の保育時間延長が

望していきます。

尾岱沼分遣所の改修計画および救急車両の配備について

用地取得や改修費用の課題もありますが、早期実現に向け要望していきます。

スクールバス待合所の現状について

児童生徒数の変動により、未使用や老朽化が著しいものもあり、スクールバス運営委員会と協議し検討することでした。

以上で、総務文教常任委員会調査・審議した内容の報告を終わります。

譲先に予定している「社会福祉法人べつつかい柏の実会」と基本合意に向けて協議を進めているとの報告がありました。

行われています。

特別養護老人ホーム等の建替えと経営移譲について

これまでも継続して調査していますが、五月二十九日の委員会で、町長から経営の移

また、施設の建設・運営に対する法人の理念や経営計画、経営移譲に関するスケジュール、法人への町の支援策などについて、当委員会として質問し、回答と説明を受け、確認しました。

産業建設 常任委員会

委員長 小林敏之
副委員長 沓澤昌廣
委員 中村忠士
委員 戸田博義
委員 安部政博
委員 松壽孝雄

砂防ダムについて

当委員会では五月二十八日に所管事務調査を行いました。

平成二十三年三月に、矢日別演習場内の楓沢二号ダムの改良工事（スリット化）が完了しま



スリットが入った楓沢砂防ダム

した。

「スリット化」とはダムに幅二mの切り込みを入れ、上流に四十七・八mの水路を設置するものです。

これにより、河川の分断が解消され、魚類などがそしやすい状況になり、生息環境が保全されます。

スリットを入れた状態でも、入れる前と強度的には変わりないと所管の報告を受けました。現在はスリットを入れたことで、

肝炎ウイルス検診について

平成二十三年度から町の集団検診においてB型C型肝炎ウイルス検診を実施しており、対象者は四十歳以上で過去に肝炎検査を受けたことのない方です。肝炎患者の窓口は保健所となっております、届出により審査基準に該当した場合は肝炎患者名簿に登録され、治療に対する医療助成が受けられます。

ごみ処理について

ごみ処理場に搬入された資源ごみはリサイクル売却し、燃えないごみ、粗大ごみは破碎処理後にリサイクル化や焼却されます。

魚類はじめ水生生物などの生育環境も良い方向に進んでいるようです。

最終処分場では毎年約四百トンの不燃物・残さ・焼却灰などを埋め立て処分しています。

燃えるごみは広域連合の処理場で焼却されていますが、施設を視察した際、施設概要や運転状況と併せて燃えないごみ（金属類）の混入があり、破碎機などに障害を与えている実態の説明を受けました。

また、混入した実物も確認しました。震災ごみの受け入れは、荒破砕機の導入や

イトウのそもも確認されたとの話もありました。

除塩の実施などの課題があり、現在のところ受け入れ困難という状況でした。

以上が福祉医療常任委員会で調査した内容です。



広域ごみ焼却場を視察する福祉医療常任委員会

以上が産業建設常任委員会の議会報告会に寄せられたご意見に関する調査内容です。

地域医療を支え看護の役割を果たします

町立別海病院 看護部長 川瀬 繁子



住民の命と健康を守る看護師のみなさん（後列左端が川瀬さん）

町立別海病院看護部は助産師、看護師、看護助手など総勢約八十名の組織です。

二十歳代から五十歳代まで世代は幅広く、看護のプロとしてそれぞれのキャリアに合わせた看護の役割を果たすべく業務をすすめています。

各スタッフには「日々の看護に満足することなく常に向上心をもってもらいたい」と考えていることから、病院理念・看護部目標・各所属の目標とともに年度毎の個人の目標を掲げてもらい、個人のキャリアアップ支援もすめ、更なる町民ニーズに応えられるように取り組んでいるところです。

現在、秋の病院新築移転に向けてその準備・調整を日々の業務に加え行っています。町民のための病院づくりを第一と考え、スタッフの皆がよりよい意見を出し合いながら一丸となっている姿に頼もしさを感じています。

私たちは町民の皆様の一歩身近な看護職としてより地域に密着した医療・看護にまい進していくこと、そして、町民の皆様と健康を守る町の基幹病院の看護部としてこれからも更に貢献していくことができるよう看護体制を強化していきます。

編集後記



今年は何か変な気候です。地球温暖化によるものなのか？ 本州では、まれに見る集中豪雨、北海道では季節の上では夏なのに、朝晩はストロブがいくらい寒いです。

政治は政局が大事で、離党だ、解散総選挙だと、国民の方を向いていないように…。今こそ地方の力を結集してがんばらなければと心に強く思っています。

議会だよりを通じて別海町の現状を、町民の皆様に分かりやすい紙面でお伝えできるよう工夫していきます。

（森本委員）

「産業の発展と環境」と題して今年三月末に起こった家畜ふん尿の河川流入問題を特集にとりあげました。重要な問題ですが、正直言って取り上げ方が大変難しい問題でもあります。農家への個人攻撃になつてはなりませんし、問題だと言つて騒ぎ立てるだけでもだめです。建設的な視点で、議会内の論議と取り組みを正確にお知らせすることが広報委員の役割と考えて編集したつもりです。ご意見ご感想をお寄せください。

（中村委員）

つながり愛・ささえ愛・思い愛 震災からの復興をみんなの力で!!